



みちくさ 放浪篇

No.13 平成 30 年 3 月 27 日

word との決別

マイクロソフト社は、マック版のオフィス 2011 について、macOS High Sierra への対応を止めている。いずれ来るだろうなと思っていただけで、まあ仕方ないのか。オフィスの年間使用の権利を買うということもあるのだけれど、高いお金を出すほどでもないかと。現時点ではまだ動くんだよね。でもいずれ固まったりして文書が無くなることを考えると、もう潮時かなと思っている。

そんな中、新しく egword Universal2 という製品が発売になった。(今ならお買い得の 3800 円) EGword と聞けば、古いマックユーザーなら誰でも知っている老舗のソフトではあるが、もう何年も前に会社は無くなり、ソフトも動かなくなっていた。それを当時の技術者が集まって新しい会社を作り、ソフト開発の権利を得て、まったく新しいソフトとして生まれ変わったというのだ。当然、この文書も新しいソフトで書いている。ソフトウェアの容量そのものが小さく、なんて軽快なんだろうと思うくらい、動きがきびきびとしていて気持ちがいい。ワープロではなくエディターだったかと思間違う位である。その昔、教頭時代には文書を EGword で作っていた。当時作った文書が全く読めなかったのであるが、この新しいソフトでは資産を全部活かせるとのことで、うれしい限りである。

自分は物書きではないけれど、教員になってから 8 ビットのコンピュータ時代からワープロらしきものを使っていた。当時はまともなプリンターがなく、これは仕事には使えないなと思っていた。16 ビットの NEC98 の全盛時代になると、プリンターもまともになり、ワープロもいくつか登場してくるが、今でも残っているのはジャストシステムの一太郎ぐらいだろうか。当時は 58000 円もしたのだから、なんと高かったのだろうか。同僚の多くはワープロ専用機を使っていたが、いずれ淘汰されることは予想できていたから、はじめから PC を使っていて正解だった。

一太郎はバージョン 3 だか 4 だか忘れたけれど、5 インチのフロッピーでプログラムを読み込ませ、98 で動いていた。当時のプログラムはプロテクトがかかっている、そのままではコピーできないのであったが、当然ソフトウェアのプロテクトというものは破られるのが運命であり、秋葉原あたりにいくと、そんなプロテクト外しのソフトがごろごろしていたっけ。型番は忘れてしまったけれど、NEC のノート PC を持ち歩いていた頃は、ワープロは一



太郎オンリーだった。

実は知っている人は少ないかも知れないが、マックでも一太郎が動いた時期はあった。バージョンは5だったと思う。でもジャストシステムはこのバージョンだけで開発を辞めてしまったので、マックユーザーとしてはとても残念だった。

Windowsの時代になっても一太郎は生き残っているから凄いと思う。でもなんと言ってもマイクロソフトのオフィスが登場してからは、業界を席卷してしまうのだから、当時は予想もできなかった。

教育センターに勤めた頃も、まだ一太郎を使っていたが、ある時、本庁に文書をメールで送れと指示され、ところが、行政ではワードしか使っていないので、ワードで文書を作れと言われてしまった。この頃だろうか。一太郎を辞めてワードに移ったのは。今から20年くらい前になる。

マックではどうだったかという、もちろんマイクロソフトのオフィスはあった。というか、そもそもexcelというソフトは、Windows用に作られたソフトでは無く、マック用に作られたソフトだったと言うことを知っている人は少ない。マックとWindows間で文書の交換は出来たかが、当時は今のように完全互換ではなかったような。

教員は一太郎ユーザーが多いというのは、このような歴史があるからだと思う。その上、指導案を作成するのに、罫線を使って表を作るのは当たり前なのだが、ワードの場合には、罫線という感覚ではなく、最初から表として作成し、表内から字が溢れると、むにゅむにゅと表がデカくなっていくし、列のサイズとかも変化するので、慣れるまでには時間がかかった。一太郎だと、一度罫線を引いて表の形を決めると、表は崩れないからね。まあ文化の違いなんだろう。

ワードを使っていて怖いのは、プログラムの容量がでかいので、動きが遅い上に、エラーで落ちてしまうことがあるということか。そもそも余計な機能をてんこ盛りにするから、プログラムが大きくなってしまうのである。文章を書きたいときに、さらさら書けるソフトで無いと、思考を中断させてしまうのでどうも慣れることができないな。

今仕事を辞めて、文書を作ることが非常に少なくなった。これ以上高いお金をかけてワードに固執する必要がないので、あっさりとは決別宣言をするのである。もちろん、機能がてんこ盛りの一太郎を使うことも無い。そもそもマックでは動かないからね。ただ思いのままに文書を作り、残すだけなら互換は考えなくていいし、webに載せるのはpdfでいいので、ワードを捨ててなんか清々しい気持ちなのである。

日本語は縦書きが基本なのだから、何も英語に合わせて横書きにすることはなく、逆に縦書きがきれいに出来ないワープロソフトは問題外である。この新しいegword Universal2は、縦書きが綺麗だということも売りだということらしい。